

まちづくりニュース

～市民と行政とのパートナーシップによるまちづくり～

平成17年10月15日
発行：大秦地下鉄駅周辺
まちづくり検討会

まちづくり検討会を再開（平成17年9月1日に第10回を開催）

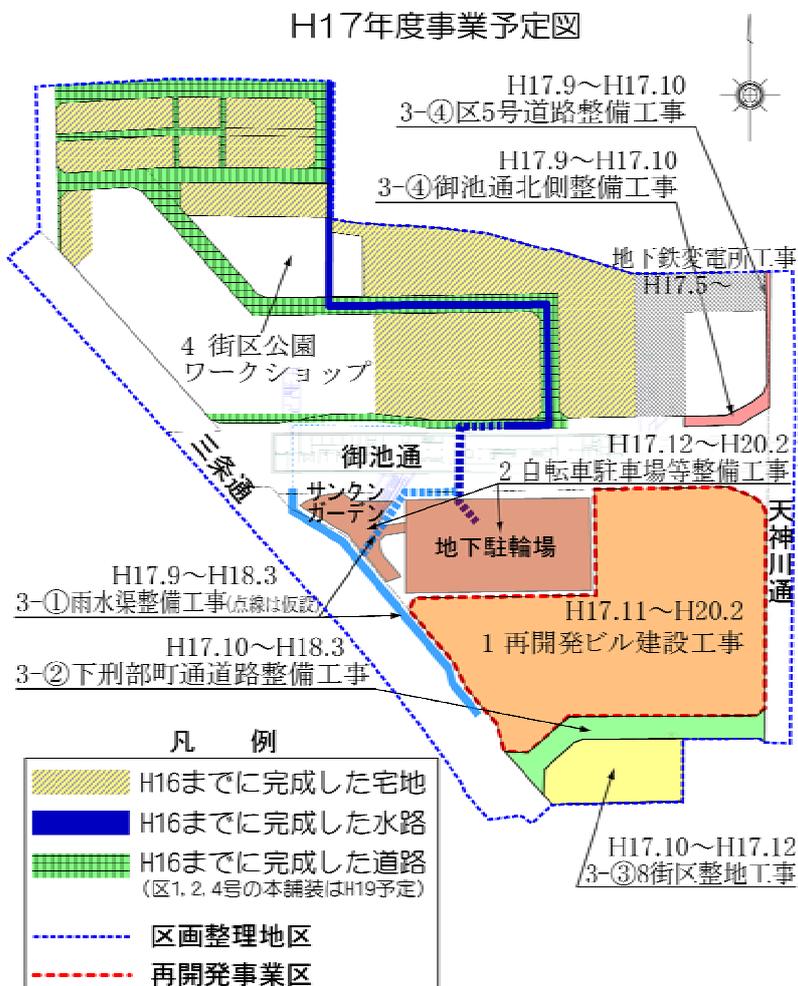
まちづくり検討会は平成14年5月に第9回を開催して以来、区画整理事業の事業化によって、住民部会を中心に取組んだために、約3年間休止していました。今年度からは、再開ビルや地下自転車駐車場等の大型工事が始まり、平成18年度からは、御池通、駅前広場、三条通、街区公園、京福電鉄新駅設置等の工事も予定されています。

そのため、まちづくり検討会を再開し、全体に関する内容については検討会で意見を聴いていきます。また、区画整理地区内に関することは同住民部会で意見を聴いていきます。今後は、検討会（全体会）を年に1～2回程度開催していく予定です。

今回の検討会での主な内容は以下のとおりです。

今年度の取組

H17年度事業予定図



1 再開ビル建設工事

市街地再開発事業で再開ビル建設工事に着工します。(工事期間:H17.11～H20.2)

*再開発施設の詳細は裏面参照

着工時期：平成17年9月市会で工事契約の承認後(11月頃の予定)

2 自転車駐車場等整備工事

御池通の駅前広場の地下部分に自転車駐車場等整備工事に着工します。(工事期間:H17.12～H20.2)

着工時期：平成17年11月市会で工事契約の承認後(12月頃の予定)

3 平成17年度のその他工事

平成17年度の工事は、雨水渠整備工事を進めます。また、再開ビルの南側に新設する下刑部町通（幅員9m）を整備し、外大西高グラウンド部分の8街区整地工事をを行います。さらに、御池通北側部分及び天神川通部分等の整備を行います。

4 街区公園のワークショップの開催

街区公園(面積：約1600㎡)は、近隣の住民の方々とともに、公園の整備内容等をワークショップを開催して検討する予定です。

実施時期：平成17年秋頃

主催：建設局緑政課、同拠点整備課

検討内容：街区公園の整備内容等について

参加対象：周辺住民を中心に募集予定(検討中)

5 工事説明会の開催

「再開ビル建設工事」、「自転車駐車場等整備工事」は、請負業者が決定した後に、工事説明会を実施し、その後に着工する予定です。

実施時期：再開ビル（10月下旬の予定）

自転車駐車場等（12月下旬の予定）

なお、日時、場所、対象者等は別途お知らせします。

6 地区周辺の交通対策等

天神川駅（仮称）周辺整備事業により道路や駅前広場、地下鉄・京福電鉄新駅等が整備されれば、地区内の交通事情が大きく変わります。また、周辺の道路等にも影響が予想され、交通対策が必要になると思われます。そのため、影響が予想される町内を中心に、具体的な検討を開始します。

世話人会の再編成及び座長・座長代行の選任

世話人が以下のとおり再編成され、世話人の中から座長及び座長代行が選任されました。

世話人 市田悦万，川津英三，清水一夫，関川政一，西本敏夫，藤井清治良，藤野正夫，
布施雄次，本郷幸夫，牧野稔，三木幸雄，村上武夫，森川土応（アイウエオ順）

《座長》藤野正夫

《座長代行》市田悦万

検討会で出された主な意見

Q．業務施設について

A．業務施設については具体的には決まっていない。入居者が決まれば報告する。

Q．再開発ビルの住宅，区役所用の駐車場の区別について

A．駐車場については住宅用（32台）と公共施設用のもの（105台）とは別になる。

Q．まちづくり交付金事業のアンケート方法について

A．まちづくり交付金事業のアンケート配布については，主に太秦，山ノ内，安井学区を中心に無作為で行った。配布分の内約25%の回答が寄せられ，内約85%の方の賛同を得た。

Q．総事業費に対する収益はどうなっているのか。全ての総事業費が62億円なのか。

A．区画整理事業で公共施設の整備及び補償費などを含めて62億円，再開発事業で142億円かかる。再開発では半分を国庫補助，残りを保留床（住宅及び業務施設等）処分金でまかなう。この事業により収益を上げることはない。

Q．地下鉄の駅の名前に「東太秦」など太秦の表現をつけて欲しい。

A．開業1年前頃に皆さんの意見を参考に，より分かりやすい駅名に決める予定である。

Q．三条北側からの御池交差点を南行可能にして欲しい。

A．利便性と安全性の問題から公安委員会と協議中。三条通南行については軌道と道路の交差点の関係から車がスリップしやすく難しい状況にある。

Q．三条北側からの南行車線を2車線にして欲しい。

A．区画整理事業区域内で区画整理事業以外の方法で交通局用地を道路として拡幅することになるため，検討はするが難しい課題である。

Q．三条京福電車の新駅に三条通南側へ渡れる横断歩道を設置して欲しい。

A．新駅が電停形式か駅形式かによって変わるため，新駅の設計が進んでからの課題となる。

Q．地区外の三条通南側のコンビニエンスストアの駐車場部分の整備について。

A．改良の必要性は理解している。ただし区画整理地区内ではないため，他の手法を含めて検討していく必要がある。

Q．天神川通で，地下鉄工事のダンプが朝早くから走っていてうるさい。夜間も光がちかちかして困る。いつまで続くのか。

A．シールドマシンが西大路までの約1kmを掘り進んでおり，その土を運び出している。年内には西大路に到着する。また，回転ライトについては，大型車両の乗り入れ箇所の安全のためであり無くすわけにはいかない。しかし方法を考えるなど相談していきたい。

まちづくりについてのご意見をお寄せください



京都市のHP

URL:<http://www.city.kyoto.ip/kensetu/toshiseibi/kyoten/uzumasa/uzumasa.htm>

連絡先（事務局）：京都市建設局都市整備部拠点整備課

住所：京都市中京区西ノ京星池町37-1

電話：(075)822-7453

Fax：(075)822-7180

Email：yuabi703@city.kyoto.jp

太秦東部地区の新しいまちづくり - 人が集い、緑と触れ合う、右京区の新たな交流拠点づくり

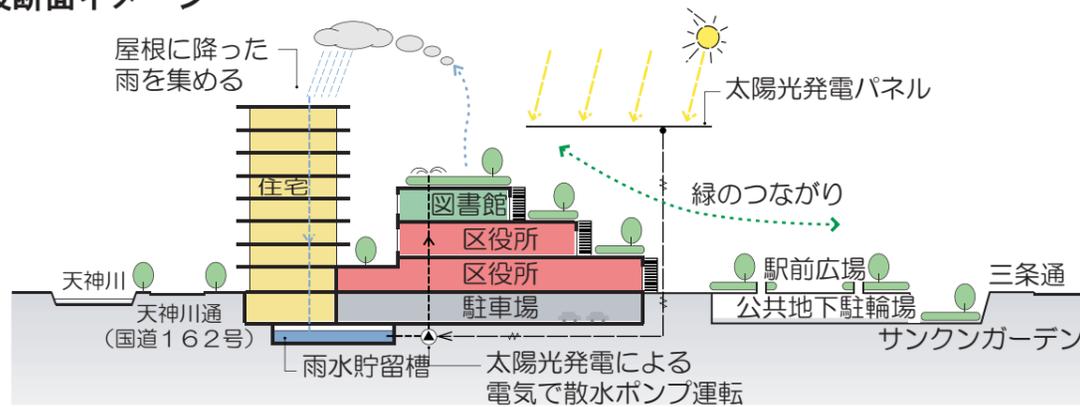
■施設建築物の構想

- 1 緑に包まれた施設づくり
- 2 気軽に使える交流の場づくり
- 3 わかりやすい施設づくり
- 4 環境共生の施設づくり
 - ①ガス・コ・ジェネレーション
 - ②雨水流出抑制・貯留槽
 - ③蓄熱空調システム
 - ④太陽光発電設備
 - ⑤地中熱利用による外気処理システム

■施設建築物の概要

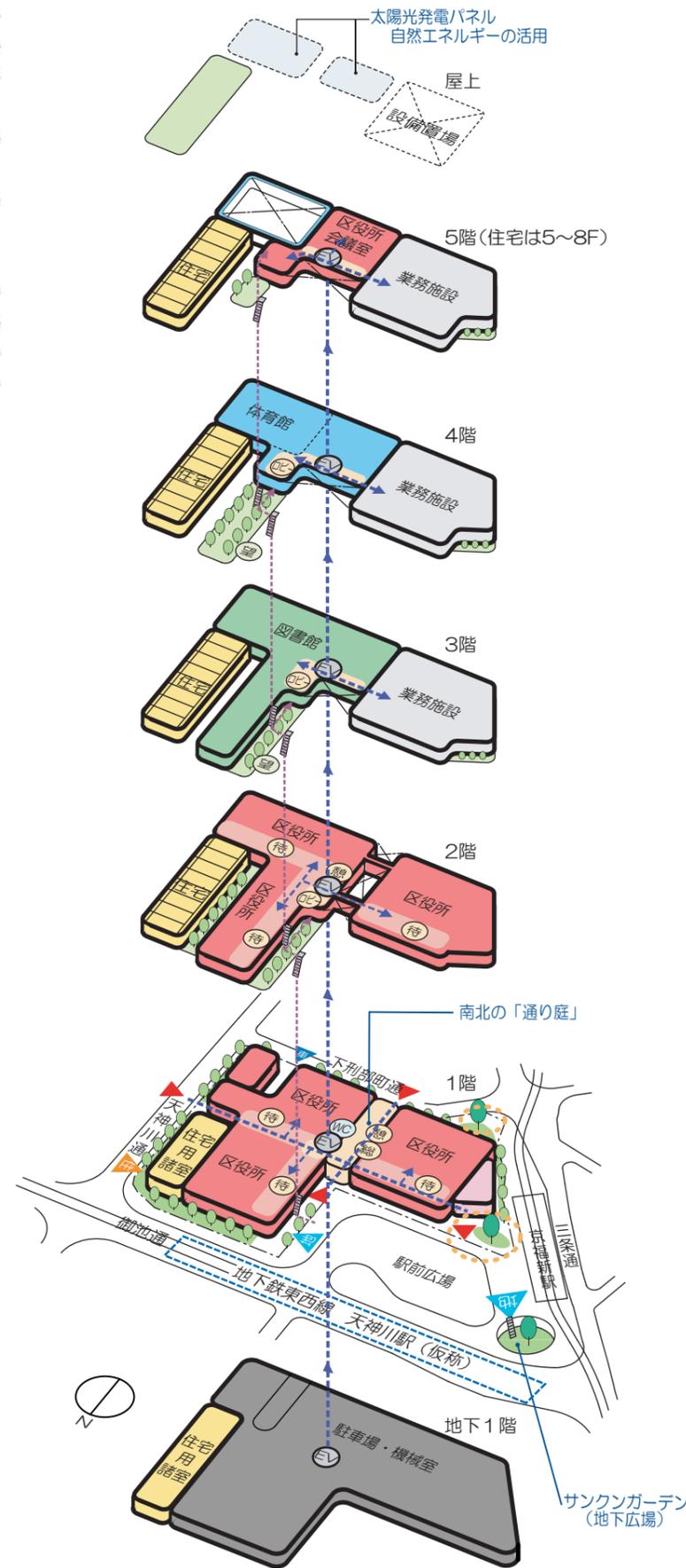
敷地面積	8,760㎡
建築面積	6,827㎡
延べ面積	34,677㎡(容積対象面積28,657㎡)
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 (ただし、住宅部分は鉄筋コンクリート造)
階数	地上5階/地下1階 (ただし、住宅部分は地上8階/地下1階)
用途	右京区総合庁舎、右京地域体育館、 右京中央図書館(仮称)、店舗、業務施設、 駐車場、分譲住宅(56戸)
高さ	24.9m
容積率	327.1%
建ぺい率	77.9%

■施設断面イメージ



■完成予想図

■施設建築物の施設構成



右京地域体育館

○京都市では、日々の暮らしの中で生涯スポーツが楽しめるように、地域に根ざしたスポーツ活動の拠点として地域体育館の整備を進めています。
○市民が気軽にスポーツを楽しめる場としての体育館であり、体育室(約1,000㎡)、会議室、更衣室などを備えています。



右京中央図書館(仮称)

○IT化時代に対応した環境の整備と、京都に関するあらゆる資料・情報を収集し、提供する「京都大百科事典的図書館」機能を備えた、京都市図書館としては、最大面積の図書館として整備を図ります。
○一般・児童書・新聞雑誌コーナーの他、京都大百科事典コーナー(京都資料・参考図書コーナー)、ティーンズコーナー、視聴覚コーナー、屋外読書テラスを備え、また利用者用パソコンを用意します。



右京区総合庁舎

○区役所区民部・福祉部(福祉事務所)と保健部(保健所)を統合した右京区総合庁舎の整備を図ります。
○誰もが気軽に立ち寄れる区役所として、公共的に利用される会議室や、エントランス(入り口部分)と一体的に利用できる屋内型の「通り庭」(交流ロビー)・ギャラリーなどを備えています。



凡例

- 待 待合ロビー
- ロビ
- くつろぎコーナー
- 総合案内・掲示板
- WC 市民トイレ
- 展望
- E エレベーター
- 建物入口
- 住宅入口
- 地下鉄入口
- 車の進入口

